

消防音楽隊と恵那南高生が共演

岩村公民館で9月30日、市消防音楽隊と恵那南高校吹奏楽部による『ふれあいコンサート』が開催されました。このコンサートは、昨年10月1日、市消防音楽隊と岩村高校吹奏楽部が行った最初で最後の共演をきっかけに、今回、もう一度共演がしたいとの声上がり、統合した恵那南高校吹奏楽部との共演が実現しました。この日は、「世界に一つだけの花」など3曲の合同演奏をはじめ、14曲を約200人の観衆の前で演奏しました。



市消防音楽隊と恵那南高校吹奏楽部の共演

家康ゆかりの重箱獅子

10月7日、三郷町野井の舟森山武並神社で秋季大祭が開催され、市有形民族文化財の重箱獅子が奉納されました。この地区には、戦国時代に武田軍との戦いに敗れ逃げてきた徳川家康が、重箱を頭に載せて踊っていた祭りの輪の中に入り、難を逃れたとされる伝説が残っています。

獅子頭は二つあり、本年は同町在住の小栗新也さんと小栗敏宣さんが和紙に漆塗りを施した家康ゆかりの獅子を奉納しました。



笛や太鼓に合わせて舞を披露

人権講演会「自分を大事に」



生徒を前に講話をする伊藤氏

9月28日、恵那東中学校で人権教育の一環として明智町出身の東京地方検察庁検事正伊藤鉄男氏を招き、「わたしたちの生活と法律」と題して、生活の中での法律や、社会の中での人権についての講演会が行われました。

伊藤氏は「自分のことを大事にできる人でなくてはならない。自分を大事にできるからこそ周りの人のことも考えられる」と人権についての考えを話しました。

地域に根付く地歌舞伎を熱演



見せ場の迫真の演技に掛け声とおひねりが飛び交う

9月30日、明智かえでホールで第15回飛騨・美濃歌舞伎大会が開催されました。これは、岐阜県地歌舞伎保存振興協議会に所属する27の地歌舞伎団体が、県民文化の向上と地域活性化を目的として開催されています。市を代表し、飯地五毛座歌舞伎保存会が「義経千本桜 鮎屋の段」を、明智町歌舞伎保存会が「妹背山婦女庭訓」を披露したほか、可児市と揖斐川町も参加。それぞれ日ごろの練習の成果を披露し、多くのおひねりが投げ入れられました。

くしはら温泉が75万人達成

9月25日、くしはら温泉ささゆりの湯では、平成14年7月のオープン以来、来場者が75万人を達成し、市長らがお祝いのクス玉を割りました。

75万人目の来場者は、豊田市の仏具師飯田正人さんと市長から地元産コシヒカリと利用券などが渡されました。飯田さんは、毎週1回くしはら温泉を利用されており、その魅力について、自然の豊かさ、特に従業員の心遣いの良さを挙げ、ゆっくりとくつろげる場所と話されました。



75万人を達成のクス玉を割る飯田さん（右中央）

地元の陶土で土器作り

9月27日、山岡陶業文化センターで山岡小学校6年生63人が、卒業制作として土器作りに挑戦しました。これは、社会科の授業で歴史を学習することから、実際に地元で採れる陶土で土器作りを体験して作品を残そうと、同校が毎年行っています。今回は、登り窯用の荒めの赤土を使用。児童らは、事前に授業で描いた土器のイメージ図を持参。同センター講師から「ひも作り」の手法を習いながら自分だけのオリジナル土器の制作に励みました。



思い描く土器をイメージしながら慎重に作る児童たち

秋の夜長にお月見会



つきたてのもちをうれしそうにもらう子どもたち

9月22日、大正ロマン館と市指定文化財の旧三宅家でお月見会が開催され、地元住民が秋の夜長を過ごしました。今年で7回目を迎えるこのイベントは大正村が中心となり、昔ながらのお月見の風習や楽しみ方を子どもたちに伝えようと毎年開催されています。旧三宅家では、もちつき会が行われ、つきたてのモチは、きな粉とごまを付けて振る舞われました。また中秋の名月に使用するススキやハギが配られ来場者はうれしそうに持ち帰りました。

ガガシ 案山子の服のコンテスト



案山子に見入る観客

9月23日、岩村町富田地区で案山子ファッションコンテストが開かれました。

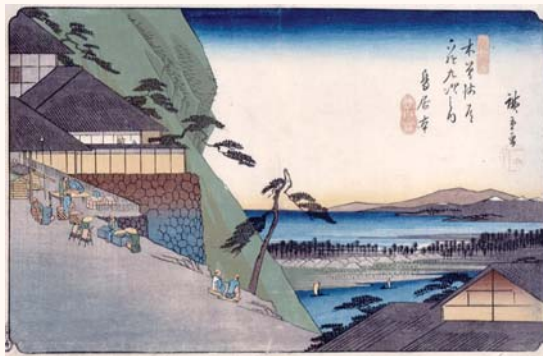
12作品が展示され、現代風にアレンジされた農作業着に参加者らは目を奪われていました。

この日は14回目となる「秋の月待ちお堂めぐり」も同時開催され、展示された作品はお堂めぐりの参加者らに審査をもらい、投票総数515票の内90票を獲得した川島由子さん（名古屋市）の作品が最優秀作品に選ばれました。

中山道広重美術館
企画展覧会

会期
9/6(木)~11/25(日)
第3期
10/30(火)~11/25(日)
開館時間 午前9時半
~午後5時(入館は午後4
時半まで)
観覧料(市民は無料)
▷大人=800円(団体650
円)▷小・中・高校生=
500円(団体400円)

毎週月曜日(祝日を除く)
祝日の翌日(土日・祝日
を除く)休館。



歌川広重
木曾海道六拾九次之内
鳥居本(田中コレクション)
大判錦絵 保永堂・錦樹堂共版
天保6~9年(1835~1838年)ころ

番場から摺鉢峠を下りると鳥居本に至ります。この峠から眼下に広がる琵琶湖の情景を楽しむことができるため、中山道随一の景として知られていました。

琵琶湖の情景といえば、やはり「近江八景」。琵琶湖南西部の8つの景勝で、広重は「木曾海道六拾九次之内」を手掛ける以前に、これらの風景を揃って発表しています。

画面中央の二人の男たちは、ござを敷き腰を下ろして、その絶景を楽しんでいるかのようです。左手に描かれているのは茶屋「望湖堂」。この茶屋は一度消失してしまいましたが、再建されて現存しています。その名の通り、琵琶湖を望みながら、一息入れることができる場所で、皇女和宮、公家大名、朝鮮人使節なども立ち寄りしました。そのためか、建物内部は本陣風に作られていたといわれます。茶屋の窓には、小さく描かれた人物たちが、風景を見ようと顔を出しているのが見えます。

東海道のように海沿いの道ではない木曾街道は、その道のりのほとんどが険しい山中をいくものであったことから考えても、豊かな水をたたえる琵琶湖は旅人たちの目を楽ませたことでしょう。江戸を出て約460^{km}、終点大津まではあと50数^{km}です。

えな環境フェア2007

「環境、いま私にできること」をテーマに市民参加による実行委員会の運営により開催されます。このフェアは恵那市の生活環境を守り、一人一人が環境保全へ向けての活動を進めていくため、市民団体・事業者・行政などの取り組みを紹介するものです。皆さんお誘い合わせの上、ぜひ、ご来場ください。

とき 12月1日(土)午前9時~午後3時
ところ 市民会館周辺および市役所会議棟
問い合わせ 環境課☎26-2111(内線183)

【活動の出展ブース】

テーマごとに活動の取り組みや、商品・写真の展示を行います。
▶テーマ=『水・河川』、『森・植物・山・農』、『ごみ・3R』、『地球・エネルギー』、『生活』



会場に、モリゾー・キッコロが応援に来ます!

【体験などのブース】

- ・ガラス体験(サンドブラスト)
- ・希少植物のスライド上映会、植物鑑定
- ・恵那ライブ気象台による研究発表
- ・リサイクル品抽選会(無償配布)
- ・スタンプラリー
- ・エコ飲食コーナー

【アトラクション】

明智太鼓、竜王太鼓、恵那のまつり太鼓の競演を行います。

とき 午前11時半~

【講演会】

とき 午前10時~
講師 杉山範子さん(環境カウンセラー)

枯れ草や樹木の切り枝などご持参ください。漏れなく有機肥料と交換します。また当日は、「日曜日サイクル広場」も同時開催しています(詳細は本紙10月1日号掲載)



日曜日サイクル広場がスタート

10月21日、市役所前駐車場で日曜日サイクル広場が初めて開かれ、234人の皆さんから資源ごみ約9300^{kg}が集まりました。

広場は環境問題に取り組む市民グループ「市民エコ会議」が中心となり、市と事業者が協力して、新聞、雑誌などの紙類や飲料缶、ペットボトル、プラスチック容器など資源ごみの拠点回収を行います。毎月第3日曜日に開催され、リサイクルの推進とごみの減量化を進めます。



プラスチック類を種類別に分別する皆さん

恵那の秋の味覚を楽しむ



栗のきれいな黄色と伝統の形が食欲をかき立てる

10月3日と10日、恵那の味・伝承講座が開かれ、市内外から21人が参加しました。講師には、長島町鍋山と久須見で桃や栗などを栽培している農業女性グループ「ひまわりグループ」から水野百合子さん、永屋美佐子さんを迎え、秋の風物詩「栗」を使った恵那地域の郷土食である、栗おこわと栗きんとん作りが行われました。受講生は、栗の「あく」の取り方や小豆の煮方、栗きんとんの形の作り方など、よりきれいでおいしく味わう方法を学びました。

ひし屋に響く琵琶の音色

10月22日、中山道ひし屋資料館で秋月の宵「筑前琵琶演奏会」が開催され、戦の前夜の木村重成とその妻白菊を語る「伽羅の唄」など2曲が、約100人の観衆の前で披露されました。

演奏者の田中旭泉さん(八百津町)は、人間国宝山崎旭萃師匠の直弟子となり学んできました。

観客らは、ひし屋の古いたたずまいと響き渡る琵琶の音色の幻想的な空間に魅了され、いにしへの物語に聞き入っていました。



琵琶を演奏する田中旭泉さん

モンゴル中学生と文化交流



モンゴルの中学生と交流を深める上矢作小児童

10月11日、上矢作小学校にモンゴルの中学生が訪れ、全校児童95人と交流を深めました。

上矢作町では平成6年からモンゴルと交流を進めており、本年度は、10日から8人がホームステイに訪れ、8日間の日程で小中学生との交流や風力発電所など市内の名所や旧跡を訪れました。交流会では、モンゴルの民族衣装を着た生徒が全校児童の前で自己紹介した後、3班に分れ、花笠音頭や民族舞踊「ウラルダン」を披露しました。